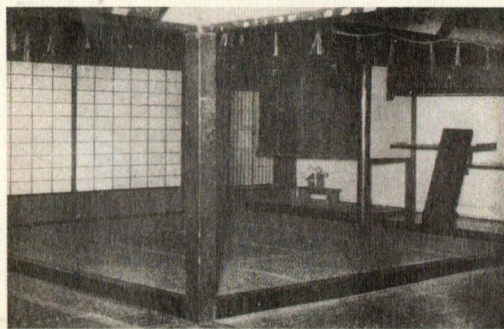


あんざいしよあと  
**明治天皇行在所跡**

明治11年(1878)、明治天皇は東海・北陸御巡幸の際、旧本陣である竹島町の飯沼武右衛門邸に宿泊されました。

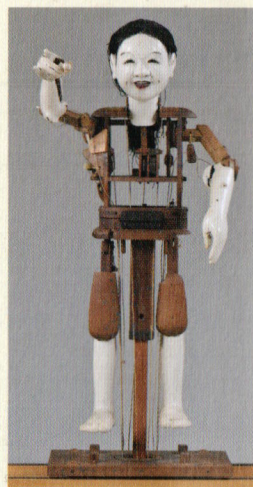


明治天皇が宿泊された上段の間  
 明治天皇行在所玉座頭  
 (『岐阜縣御巡幸誌』 所載)

**大垣城下の祭礼  
 大垣まつりと竹島町**

「大垣祭の軸行事」として国重要無形民俗文化財に指定された大垣まつりは毎年5月に行われる八幡神社の例大祭です。360年余の伝統を誇り、13両の軸が大垣城下を巡行します。

竹島町には、かつて朝鮮通信使の行列を模したとされる「朝鮮山車」がありましたが、明治以降は「柵軸」となっています。本施設では柵軸に関する古い資料などを展示しています。



からくり人形



柵軸

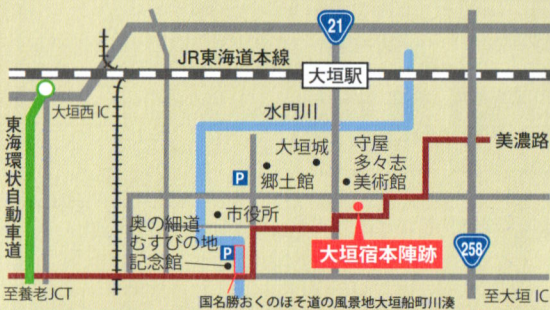


朝鮮山車の様子 (『月岡画帖』)

記念スタンプ欄

交通のご案内

飛行機	中部国際空港	名鉄空港線ミュージアムライ	28分	名古屋	JR東海道本線快速	31分	大垣
鉄道	東京	のぞみ号	99分	名古屋	JR東海道本線快速	31分	大垣
	新大阪	ひかり号	36分	米原	JR東海道本線普通	33分	大垣
自動車	名古屋IC	東名高速道路・名神高速道路		49km	大垣IC		
	京都東IC	名神高速道路・東海環状自動車道		106km	大垣西IC		



- JR大垣駅から徒歩14分
- JR大垣駅(2番のりば)からバス8分「共立銀行前」下車徒歩3分
- 名神高速道路大垣ICから車で18分
- 東海環状自動車道大垣西ICから車で13分

**美濃路大垣宿本陣跡**

〒503-0878  
 岐阜県大垣市竹島町39番地  
 TEL.0584-81-4111  
 (大垣市役所商工観光課)

平成28年3月

大垣・西美濃観光ポータル「水都旅」



大垣観光 検索



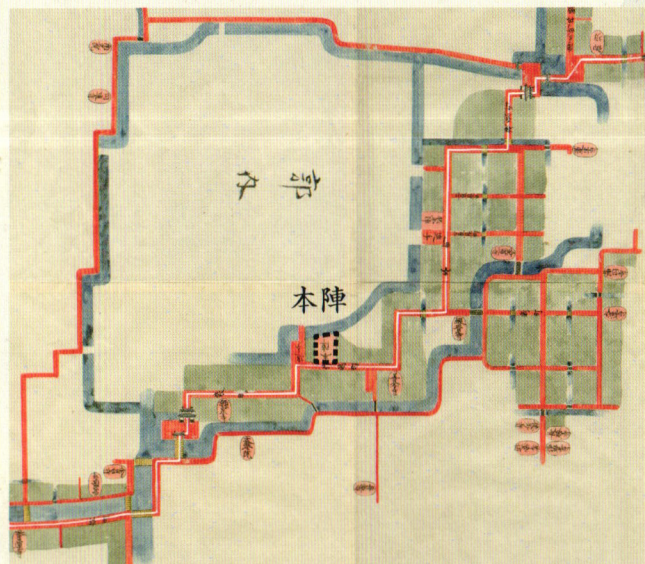
**美濃路大垣宿本陣跡**

## 美濃路と大垣宿

江戸時代、大垣は大垣藩戸田家10万石の城下町としてだけでなく、中山道と東海道をつなぐ美濃路の宿場町として、また水門川から揖斐川を通り、太平洋に抜ける水運の拠点港としても発展しました。

美濃路は中山道の垂井宿と東海道の宮宿とを結ぶ街道で、垂井宿から大垣、墨俣、起、萩原、稲葉、清須、名古屋の7宿を経て、宮宿に至る全長14里24町余(約58km)のことをいいます。

大垣宿は垂井宿から南におれ、大垣城下の船町に入り、大垣城の西の総門(京口門)を通り、俵町、竹島町、本町を経て、東の総門(名古屋口)を通り、伝馬町、藤江町を経て、墨俣宿へと続きます。



江戸時代の美濃路大垣宿(大垣市立図書館蔵)



## 大垣宿本陣

大垣宿は、江戸時代を通じて、本陣、脇本陣、問屋場、旅籠屋、商家などが軒を連ねる活気あふれる宿場町で、竹島町に本陣、本町に脇本陣が1軒ずつありました。本陣は、大名や宮家・公家、幕府の役人などの休泊施設や文化人の交流施設として利用されていました。

本陣としての役割を終えた明治から昭和にかけては幾度の増改築を経て、平成24年度に改修工事を行い、美濃路大垣宿本陣跡として公開しています。また、敷地は大垣宿本陣跡附明治天皇行在所跡として大垣市の史跡に指定されています。



大垣宿本陣表門  
(大垣商業学校発行絵葉書)



現在の外観写真



現在の美濃路の様子(大垣宿本陣跡付近)



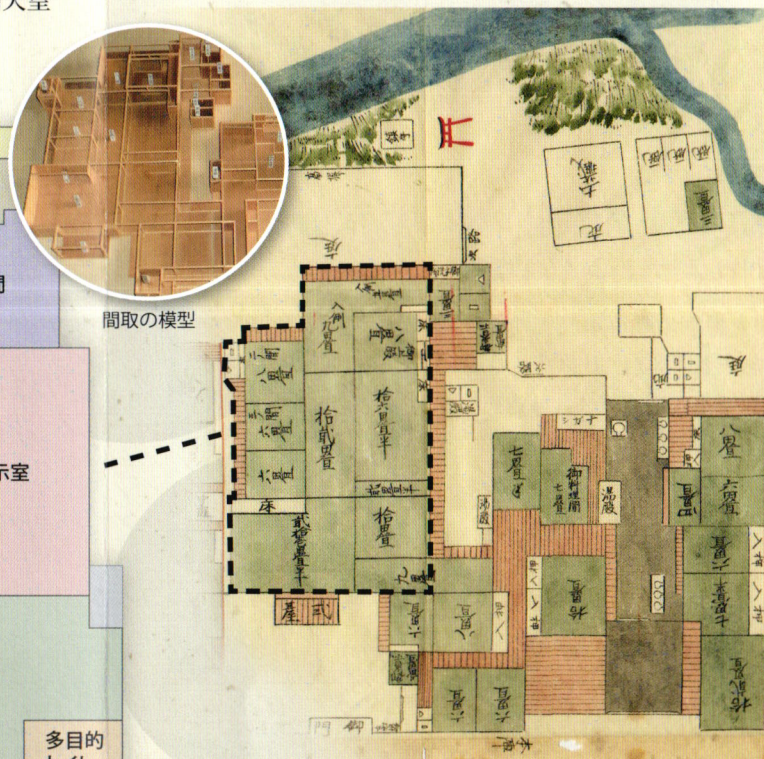
展示室内観



お休み処内観



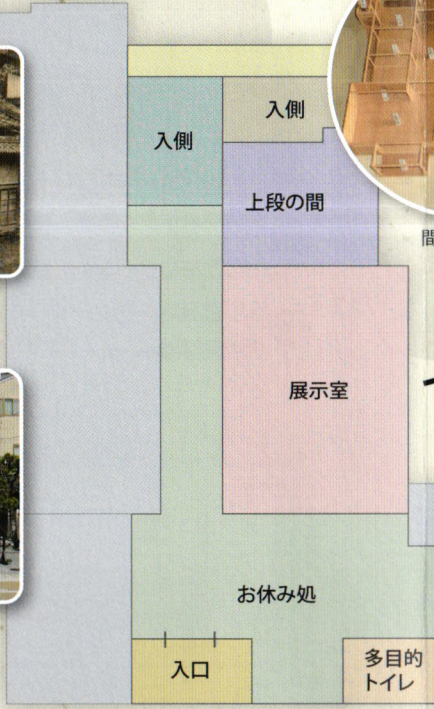
本陣の模型



江戸後期の本陣絵図  
(大垣市立図書館蔵)



間取の模型



館内案内図